

【放課後等デイサービス】事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年3月1日

事業所名 ああるレインボーDuo谷塚駅前教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5			・同じ時間に個別がある時、部屋の端と端に机をセットしている。	パーティションでは区切らず、個別で集中して取り組める環境になるように席を離してセットしている。最後には個別同士でも一緒に関わられるようにもしている。
	2	職員の配置数は適切である	4	1			個別支援は1対1、集団でもリーダーとなるスタッフとサブのスタッフを配置し、個々の支援もできるように心掛けている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	2	1		活動部屋はフラットになっているが、玄関とトイレには段差がある。 玄関は幼児が靴を履くのに丁度座りやすい段差となっている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	2			毎年年間目標を立てて、上半期・下半期で目標の達成度を振り返っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5				毎年年度末にアンケートを行い、業務改善に繋げている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	1	1		年度末に公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3		2		第三者による外部評価について、情報がまだ不十分などところがあるので改善していきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5			・研修の案内が事務所内に掲示しており、誰でも参加できるようになっている。	草加市・足立区で行われる研修会を事務所に掲示して、興味のある物に参加できるようにしている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5				半年ごとの面談を行い、児童の様子や保護者様のニーズを確認して支援計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1			Duoの共通アセスメントシートを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5			・リーダー1人が決めるのではなく、他の人の意見も取り入れて考えている。 ・活動内容に迷った時はスタッフに相談したり、他のグループに入ることでヒントを得たりする。	・集団支援の時は、リーダーが月ごとの活動予定を立てるが、考えるときに他のスタッフにも意見を聞いて決めている。 ・個別支援は担当が活動内容を定めるが、前回の指導記録を参考にしたり、担当したスタッフと話し合っ内容を決めている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5				同じ内容が続かないように、指導記録を確認したり担当したスタッフと相談して、マンネリ化しないように意識して取り組んでいる。 児童が楽しめること・興味をもつことを一番に考え、学校生活でも活きる活動を考えている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	2	3			季節を意識した工作やイベントは行うが、平日と休日では利用している方も違うので、特別に分けてはいない。長期休暇は宿題を取り組むことは行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5				個別支援の方にも、お友達と一緒に時間を設ける支援計画を立て、集団支援の方にも必要に応じて個別対応の支援すると支援計画に入れている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	1		・事前と一緒に担当するスタッフ同士で、その日の活動内容を確認している。	活動前に必ず打合せを行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1		・次に繋げるために毎日あると良い	その日のうちに振り返りを行い、児童の様子・これからの関わり方などを共有している。

【放課後等デイサービス】事業所における自己評価結果(公表)

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			・毎回活動ごとの記録をつけている。	指導記録を必ずとっている。
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5				適宜モニタリングを行い、ニーズや支援計画に相違がないか確認している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5				基本活動を組み合わせて行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	2			児発管が事前にスタッフに聞き取りをして、みんなの意見をまとめた上で参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	2	2	1		学校への送迎がないので、下校時刻の確認などは長期休暇前の短縮がある時に情報をもらっている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	2	2		現在、対象児童なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	2		・ケース検討や見学の時の情報を役立てている。	連携が取れる事業所とは共有している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	1	1		小学生までの利用のため、対象児童なし。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1			支援センターとは連携をとり、見学に行かせてもらったりしている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		1	4		現在は交流の機会はない。利用時間が1時間なので、交流の機会を作るのが難しいが、要望があれば検討していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	2	1		草加市連絡協議会全体会に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			・毎回職員と保護者で振り返りを行っている。	毎回振り返りを行い直接お話をしたり、連絡帳でのやり取りでも共有している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	1	2		講座のように行っていないが、保護者様より相談があった時や面談時にお話している。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5				契約時に、重要事項説明書に沿って説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			・直接聞いたスタッフだけではなく、スタッフ間で共有し関わるスタッフで支援や助言を行うようにしている。	送迎時に相談があった場合は、その場で話をするか一度スタッフで話し合ってから助言をすることもある。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	1	3		現在、保護者会を開催していない。今後、要望があれば開催を検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5			・頂いた相談や苦情等は会議や伝達ノートを使用して共有して対応している。	相談や苦情があった場合は、迅速に対応するように努めている。もし対応に時間が必要な場合は、その旨説明をして対応の準備をする。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			・毎月お便りを発行している。	毎月お便りを発行している。

【放課後等デイサービス】事業所における自己評価結果(公表)

	35	個人情報に十分注意している	5				契約時に個人情報の取り扱いについては説明をして同意をいただいている。情報の共有が必要な時は十分注意して扱っている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			・毎回、職員と保護者で振り返りを行っている。	相手に合わせて情報伝達の方法を考え配慮している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1		4		今は事業所で地域と交流するような大きなイベントがない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	1	1		職員だけでなく、保護者様にもマニュアルの周知ができるように改善していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	2	3			毎月、地震・火事・水害に対する避難訓練をローテーションで行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5				毎年職員研修を行い、研修後にはレポートを提出し虐待防止に努めている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	2			現在、身体拘束が必要な児童がないので保護者の同意書はもらっていないが、身体拘束についても毎年研修を行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1			契約時にアレルギーの有無は確認しているが、現在医師の指示書に基づく対応が必要な児童がない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5				・共有するため、毎月会議を行っている。